**教科書の特色　「改訂版 言語文化」（数研　言文・104-901）**

|  |  |
| --- | --- |
| **検討の観点** | **具体的な特色** |
| **⑴　学習指導要領との関係**  ・生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるような教材を選択している。  ・科目が目標とする資質・能力を育成するために適切な言語活動を用意している。  ・他教科との関連を考慮している。  ・中学校の学習から円滑に移行できるよう配慮している。 | ・古文、漢文、現代文の教材として、言語文化を理解し、親しむことに適したものが収録されている。  ・「言語文化と古文」「言語文化と漢文」「言語文化と近現代文」コーナーが各編の冒頭に収録され、言語文化の変遷を踏まえて学習を進められるよう配慮されている。  ・生徒の発達段階に適した教材を使用し、各教材末には、言語文化を多角的な視点から考察できる具体的な言語活動が課題として掲げられ、指導が進めやすい内容になっている。  ・情報科との関連を意識したICT機器を用いた調べ学習課題、英語科との関連を意識した古文と英語の和歌の比較課題が用意されているなど、教科融合的な学習ができるよう工夫されている。  ・古文の冒頭教材の難解な箇所には訳注が施されるなど、高等学校での学習を円滑に導入できるよう配慮されている。 |
| **⑵　分量・構成**  ・読解力と創作力の定着に適した分量の教材や解説が用意され、整理されている。  ・学習内容について、系統的、発展的に構成されている。  ・学習の参考になる写真、挿絵、資料などが適切に選ばれている。 | ・「書くこと」「読むこと」の能力を偏りなく養成するのに必要な量の教材が掲載されている。  ・古文編、漢文編には、文語の決まりや訓読の決まりを体系的に学習できるよう、重要事項の解説をまとめたコラム（「古文チェックポイント」「漢文チェックポイント」）が設けられている。  ・教材の読解から発展させて、言語文化についての知識や理解を深めることができるコラム（「ズームアップ」「作品解説」「知っておきたい日本語の歴史」）が充実している。  ・読解の助けとなり、知識の習得にもつながる写真や図版が豊富に掲載されており、また適切な位置に配置されている。  ・二次元コードを通じて、教材の理解を深めることができる「学習用コンテンツ」が多数用意されている。  ・国語的教養に関する「解説」や読書活動につなげる「作者解説」、比較読解用の「探究の扉」など、参考となる資料が随所に掲載されている。 |
| **⑶　表記・表現及び使用上の便宜**  ・生徒の学習や理解を助ける表記、表現になっている。 | ・現代文、古文、漢文それぞれの学習に適した文字の大きさ、行間になっている。  ・専門性の高い用語や解釈が難しい箇所には脚注が設けられ、生徒が学習しやすい内容になっている。  ・古典文法に関する資料や、図版資料が豊富であり、授業での参照や学習の整理がしやすくなっている。 |
| **⑷　印刷・製本・その他**  ・学習に適した紙面、製本様式になっている。 | ・本文用紙は軽量で、開きやすい製本様式となっている。  ・ユニバーサルデザインの観点で配慮された色使い、穏やかな色味で学習に集中できる体裁になっている。 |
| **総合所見** | ・教材の質、分量ともに適切であり、伝統的な言語文化に対する理解を深め、実社会に必要な国語力を効果的に育成できる。 |